



日本児童養護実践学会

日本児童養護実践学会

# 総会・第3回研究大会のご案内

大会テーマ 「実践が生み出す子どもの未来」

後援 テレビ朝日福祉文化事業団・財団法人原田積善会・東京都社会福祉協議会児童部会・公益財団法人資生堂社会福祉事業財団  
協力 昭和女子大学

2011年2月12日(土)、13日(日) 昭和女子大学

大会テーマ 「実践が生み出す子どもの未来」

会場 昭和女子大学 東京都世田谷区太子堂1-7

大会長 高橋 久雄 (昭和女子大学教授)

参加費 会員無料、非会員 3,000円 (大学・院生は1,000円)  
意見交換会 4,000円

申込先 日本児童養護実践学会事務局  
(シムウエルマン株式会社内)  
Tel 03-5211-2858 Fax 03-5211-2859  
Email info@yougojissen.jp

参加締切 2011年2月5日

プログラム

<第1日> 平成23年2月12日(土)

15:30 総会  
16:45 研究大会開会式  
17:15 記念講演 「世界の児童養護」  
岩崎浩三氏 (日本ソーシャルワーカー協会常任理事)  
18:30~20:00 意見交換会

<第2日> 平成23年2月13日(日)

10:00 分科会 ①児童養護実践 ②子ども家庭支援  
③施設の運営管理 ④現場の実践を語る  
13:30 分科会報告  
14:00 基調講演「実践を言葉で説明する力」  
岩間伸之氏 (大阪市立大学准教授)  
15:00 シンポジウム「私たちの実践をどのように説明しているか」  
助言者 岩間伸之氏 (大阪市立大学准教授)  
コーディネーター 加藤 純氏 (本学会理事)  
17:00 閉会

分科会  
発表者集

申込期限 2010年11月30日  
200字程度の要旨をメールか郵送又は  
FAXで事務局に送付

発表者資格 発表申込時に会員であること、  
または、入会申込みをしていることとする。  
テーマ区分 ①児童養護実践 ②子ども家庭支援  
③施設の運営管理 ④現場の実践を語る



# 日本児童養護実践学会 第3回 研究大会 開催のご案内

第2回研究大会には多くの施設職員の方々の参加があり、本学会のめざす「実践者による、実践者のための、実践者の研究」を方向づけるものとなりました。そして、日々の実践の力と価値の重さを、あらためて確認する場でもありました。

施設に入所する子どもや家族の抱える課題の深刻さや複雑さが増すにつれ現場の実践は、様々な困難を抱えつつも意味ある重要な実践を積み重ねています。そして、これらの問題のなかには受け入れた施設の養

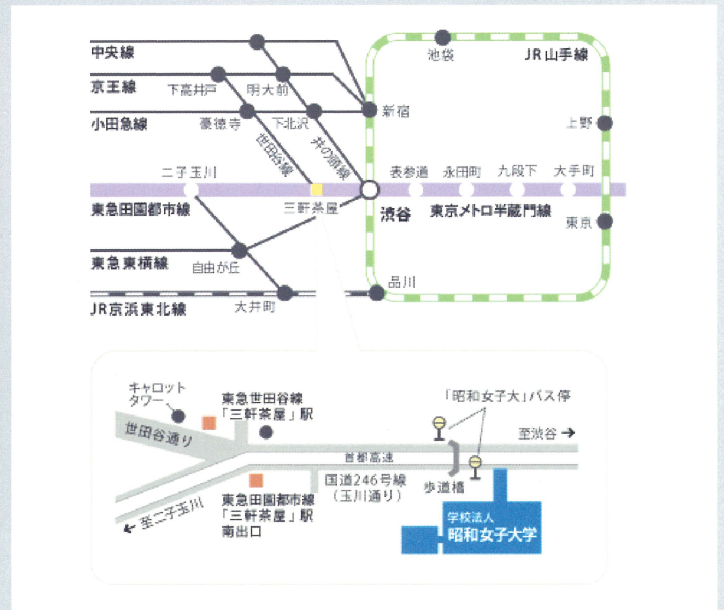
護だけでは、家族の抱える問題の解決や子どもたちを自立へ導くことが相当困難な事例もあります。

それは、それらの実践を実践家自身が言葉や文章等で表現し、関係機関や他領域の専門家の理解を得てよりよい連携・協働関係をつくっていくなかですすめることが必要な状況としてあります。

本学会は、子どもたちの最善の利益を実現するとともに課題解決のための援助方法やしくみづくり等、児童養護の専門性の発展に寄与することを、その目的として活動を進めています。

そこで第3回研究大会は、「実践が生み出す子どもの未来」をテーマに、児童養護の実践のなかで形づくられているもの、解決すべき課題、混沌としているもの等を、児童養護や子どもの自立支援に関わる施設職員、施設長、里親、関係機関、職員の養成機関、支援団体等さまざまな立場の会員・関係者に参加していただき、日頃の実践を語り合い、議論し、研究を深める機会としたいと思います。

大会長 高橋 久雄



昭和女子大学交通のご案内

- ◆地下鉄：東急田園都市線（半蔵門線直通）  
「三軒茶屋」駅下車 徒歩7分
- ◆バス：●渋谷駅から下記方面行きを利用し、「昭和女子大」下車  
(上町・等々力・田園調布・弦巻営業所・二子玉川・高津営業所・成城学園・祖師谷大蔵・狛江・調布)
- 目黒駅・祐天寺駅から三軒茶屋行きを利用し、「三軒茶屋」下車
- 下北沢駅から駒沢陸橋行きを利用し、「三軒茶屋」下車

## 日本児童養護実践学会 第3回研究大会 参加申込書

お申込FAX番号 FAX 03-5211-2859 日本児童養護実践学会事務局

会員No	ふりがな 氏名	所属	職名
住所 〒			
電話	FAX	参加費(当日受付でお支払ください) ( ) 会員 無料 ( ) 大学・院生 1,000円 ( ) 非会員 3,000円 該当するものに○印	意見交換会 への参加 ( ) する ( ) しない 参加費4,000円
Eメールアドレス		13日のお弁当1,000円 (いる いない)	